

先月号の続きです。先月号では、コナン・オブライエン(以下「オブ」)等のジョークがカセバーグ(以下「カセ」)の著作権を侵害したとする訴訟で司法判断があったことから、問題になった5つのうち3つを紹介しました。先月号の繰り返しになりますが、3つは以下です(太字は注目点)。

(1) カセ:「アラバマ・バーミントン大学はフットボールプログラムを廃止するようです。それに対して**オークランドレイダース**は言いました。『ちょっと待って、それってできるの?』」;オブ:「スポーツで大ニュースです。アラバマ・バーミントン大学はフットボールチームを継続しないことを決定しました。そうです、そのニュースを聞いたときに、**ニューヨークジェットのファン**は言いました。『ちょっと待って、それってできるの?それはできるようなことなの?』」(著者:オークランドレイダースもニューヨークジェットもかなり弱いフットボールチーム。)

(2) カセ:「今週、デルタの飛行機がクリーブランドからニューヨークに2名の乗客を乗せて飛び立ちました。彼らは飛行中**ずっと肘掛をめぐって争っていました。**」;オブ:「昨日、デルタの飛行機がクリーブランドからニューヨークに2名の乗客のみを乗せて飛び立ちました。しかしながら、**どういうわけか彼らは肘掛をめぐって飛行中ずっと争うことに費やしていました。**」

(3) カセ:「トムブラディは、彼の MVP **トラックをパトリオットを勝たしてくれた人**にあげたいと言いました。そうです、その**トラックを楽しんでください、ピーターカロール。**」;オブ:「トムブラディは、彼がスーパーボール MVP として貰った**トラックをスーパーボールでパトリオットを勝たしてくれた人**にあげたいと言いました。とてもいいことです。私はいいと思います。そうです、**ブラディが彼のトラックをシーホークスのコーチピーターカロールにあげたこと**です。」(著者:スーパーボールの決勝で、シーホークスのコーチであったピーターカロールが終了間じかで拙劣な指示を出したためシーホークスが負けた。)

上記のジョークはいずれも事実の後にユーモアのパンチラインが続く形式となっていますが、裁判所が示した基準は、ジョークには「薄い」著作権の保護のみ与えられ、実質的に同一の場合に限り、著作権の侵害になるというものです。さて、上記3つのうち実質的に同一とされたのはどれだと思いましたが。まず(1)は、パンチラインで異なるチームの名前が使われていること、また、カセではチームメンバーのコメントであるのに対して、オブではチームのファンのコメントであること、の2つの違いにより実質的に同一でないと判断され、(3)はパンチラインで出てくる人物が同じで、基本的な表現、ストーリーも同じなので、同一ではないが客観的に実質同一であると判断されています。なお、(2)は明らかで判例でも具体的説明はありませんでしたが実質同一とされています。

(上記は一般論又は個人的見解で、個々のケースでの法律アドバイスを目的としたものではありません。)